

【略】

○上村真造委員長 それでは、改めて、3. 議会の条例、規則等に関する事項についてを議題とします。

まず、1. 議会改革検討項目についてのV-2 議会活動の基盤についてです。

前回、各会派の意見について、修正される場合は事務局まで連絡をとお伝えしておりましたが、どの会派からも修正の連絡がありませんので、修正なしということによろしいでしょうか。

○八木 浩委員 するけど、30日まででよかったね。

○上村真造委員長 それでは、9月30日水曜日までに事務局まで提出してください。

次に、議会の活動基盤についての正副案についてです。各会派からのいろいろな御意見を取りまとめた結果、議会運営委員会としては、議員定数については、現状とおおり24人か、2人減の22人。議員報酬については、議員がみずからの報酬を決めるのは難しいため、報酬審議会に委ねる。政務活動費については、現状どおりの額とする。としたいと思います。また、各会派の意見については、ホームページに掲載したいと思います。お手元に、ホームページのイメージをお配りしております。

御異議ございませんか。

○小原明大委員 異議あります。今、議運としての結論おっしゃいましたけど、ちょっとそれ紙にもなっていませんし、もう一回確認したいんですけど。報酬審議会に委ねるっていうのを総意でないと。私同意していませんのでちょっと待ってほしい。それどっか書くんですか。検討結果のホームページのここに書くと。

○木村（知）議会事務局次長 今、この検討結果をホームページの検討結果などの欄に、参考につくってみたんですが、ホームページの議員定数、議員報酬、政務活動費の検討結果などの欄に、一応、正副案ということで書かせていただいて、それ以外に各会派の御意見を詳しくってところで、こちらっていうところを押していただくと、次のページにあります各会派からいただいた御意見が列挙するような形プラス、そこに入ったら、今まで検討していただいている資料及び会議録をここに載せていくというような流れになっているようなホームページを。前回、会議録とか資料を載せたらどうかというような御提案いただきましたので、そういったのをイメージしてつくってみたものがこれになります。

○小原明大委員 各会派の意見を列記するのであれば、結論があったらおかしいと思

うんですよ。議運としての結論が書いてあるのに、各会派の意見を詳しくはこちらを開いたら、違うことが書いてあったらおかしいじゃないですか。それやったら、各会派の意見が分かれましたので、御意見はこちらって言ってもらわないと。それはあんまりだと思うので、ぜひもう少しまとめていくと言うか、検討していく方向が望ましいと思うんですけど。

○福島和人副委員長 その意見に関しても、さっきお話したように、24人と22人という話が出て、それがまとまらないということで、正副委員長としては、ここに24人と22人の意見があると。ただし、これに至ってはいろんな意見があるので、それは列記して皆さんの各会派の意見を見てもらう、市民の方に見てもらおうというふうな形で今回は載せようという判断に至った。要するに、結論を出すっていうのはなかなかここでは難しいというのが我々正副の考えです。

○進藤裕之委員 ただ、今、上村委員長の言われることをそのまま受け取ると、議員定数については、議会運営委員会の結論は24人か22人って言い切らしたんでしょ。それは結論じゃないです。各会派から出たいろいろな意見の中で、さっき小原委員が言うたように24人か22人って意見が出てたっていうわけであって、議会運営委員会の検討終了のここの検討結果のところそういうふうな表現で書くと、ほな、次どうするねんっていう話になってしまいますよ。24人か22人って言い切ってますんで。だから、各会派からはいろんな意見が出たので、まとまった見解は出しませんでした。だから、これは前回と同じような表記にしとかないと。それで各会派の検討結果についてはこちらっていうような形で今のクリックしていくって話になってくると思うんですよ。

議員報酬についても報酬は確かに。ただ、報酬審議会に委ねるべきやっていうことを言ってない会派もあるはずなので。

○八木 浩委員 そこまでつつこんで直接書いてはらへんところもあるからな。

○進藤裕之委員 そうなんですよ。だから、いろいろな意見があったということで、これも結局まとまってないんで。そういう表記にしとかないと、何も議会運営委員会の場としては結論出てないですから。かつ冒頭に陳情の趣旨を了としないということになってしまったので、あれについては論議を尽くすべきやってことに対して、議会運営委員会の結論はしないって方向性になってしまったので、我々輝はこれ以上言いません。

なので、この方向性でまとめるということについては異論ないんですけども、今、

言われてる内容やとちょっとおかしい。小原委員と同じです意見は。実際どう書くんやってところまで書いていただかないと。

○上村真造委員長 わかりました。それでは、議会運営委員会としては、答えは出ないと。

○進藤裕之委員 そうです。実際そういうことです。

○上村真造委員長 各会派の意見をホームページ上にはそれぞれの意見を載せるという形にさせていただきます。

○三木常照委員 議会運営委員会としては、各会派の意見を集約してまとめようと努力はしていただいたんですけど、いかんせん、内容が内容なだけにみんなが統一的に納得できるような形のようなものって出えへんし、今、進藤委員言いはったみたいにそういう言い方で書いてもうたらいかがでしょうか。

○八木 浩委員 委員長に負担ばかりかけたらあかんねんけど、議運で出てくるのは、会派代表しか出てきてないわけですよ。あと、無所属って形で今、現状3人おられる。そうすると、これは本来なら、例えば、議長であったりかどう思ってるんやっていうような、どっか受け皿があって声を聞く場を求めなあかんのかなと。でなかったら24人の声にはならへんのかなというのが、会派としてはやってきたほうがいいんですけど、結局、一人一人みんな思いは会派の中でも違うんでね。一人一人がどうなんやっていうと、会派として、議運としてはそれでマルなんやけど、1人の人の意見が声。

○上村真造委員長 そうですね。

○進藤裕之委員 その点については、たまたまこの期中に会派に属さない議員が3人出てきてしまったんですけども、冒頭で議会運営委員会という場で論議をしていくと決めた以上、現時点では各会派に属さない議員さんの意見は聞く必要がないと思う。

○八木 浩委員 せやからええねん。私らは聞く必要がない。

○進藤裕之委員 今、八木委員言われてたのは、そうすると議員個人のみみたいなことも言ってはりましたやん。ただ、会派の代表が出てきてるこの場においては、会派の意見があくまでも会派に属さない全議員の意見をそれぞれの会派で代表して出てきている話なんで。そういうふう聞こえたんですけど。各個人の議員の意見をとというのは聞く必要ないと思います。

○八木 浩委員 議運として私らやってきたことは、会派として意見の集約をするよ

うにしながらもってきて、結論を出そうとしているということは、それは思っているとおりやと思うんやけど、それを議運も受けているわけやねんけども、ただ、議会としてどうなんやっていうときには、そこからこぼれたっていうか、声が出せなかったと思われる人も出んのかなってときには、もう一つ議会としてっていうのがどういうなんかな。

○進藤裕之委員 ただ、議会運営委員会という場で、期の初めにそういう形で決まったことに対しては、途中の状況で外れてしまった議員さんに対しては、その意見を吸い上げる場っていうのは私は必要ないと思いますし、ただ、何も無視せいでいいわけじゃなくて、議会運営委員会の場の論議を通じて、こういうような形の、結果は各論併記とか会派の意見を列記する形になりますけど、こうなりましたっていう報告はせなあかんと思うんですよ。それは必要やと思います。そこからもう一回吸い上げてというような、そこまでの配慮は必要ないと思います。

○八木 浩委員 いや、議運で吸い上げることはできひんから。

○進藤裕之委員 正副議長としても、正副委員長かもしれないですけど、意見を吸い上げる場は私は必要ないと思う。たまたま、今のこの状況で会派に属さない議員になっただけなんで。冒頭からそういう状況やったら、議運の場で会派に属さない議員の意見どうするねんっていう論議があってしかるべきなんですよ。でも、これは途中でそうってしまった以上、そこまでの配慮は私は必要ないと思います。

○上村真造委員長 わかります。だから、拙速かもわからへんけども、とりあえずはこういう形で、議運では答えはないけれども、大変申しわけないけれどもこういう形でホームページ上に併記をするということで。今、八木委員もおっしゃられてる、一旦ここはここで閉めて、次の段階として先ほど、進藤委員が言われてた、それが政策研究会がいいのかというところで会派に属さない議員も入られて話をさせていただく場をつくるならつくるで。とりあえずここでは一旦、大変申しわけないけど、結論じゃないけど、ここで閉めてしまうということでぐあい悪いですかね。

○小原明大委員 一旦閉めてということが、なぜ、きょう閉めなあかんのかというのが。まだ任期あるじゃないですか。きょう、閉めなあかんっていうのがわかりません。やっぱり検討終了って出して出すからには各会派が意見出したのを並べているだけでは検討とまではいかないんじゃないかなと思いますので。ちょっと思ったのは、やっぱり各会派が出さなかったものについて、それぞれお互いにこれはどうい

うことやとか、それは違うんちゃうかとかやりとりをした上で、最終的にまとまらんっていうのであれば、各会派がその議論を踏まえてもう一回こういう意見やっっていうのを出してまとめるということであれば、何を検討しはったんやという、全然意見かみ合っていないやんかっていうふうになると思うんですよ。だから、私思いますのが、項目が3つありますので1回ずつぐらいに分けて、次回とその次ともう一回ぐらいでできるのではないかなと。

○福島和人副委員長 最初に議運の中で皆さんにスケジュールを来年の9月まで渡してると思うんですけど、これは確認をさせてもらってると思うんですよ。1項目ずつ、いつの時期までにやるって。ほんで、この議員活動の基盤についても1回前倒しして、今回もこれだけ延ばしてやってきて、今の結果があるんやからという形で、我々正副としては今回でここは形として出すということ。

確かに、議論尽くしていけばいくらでも尽くせる。前部の項目に関して同じことが言えるんでね。これだけ特化してなんでずっとこれをやれやれっていうのかがね。皆さん意見も出してるわけやから。そういう考えもあるでしょ。これはやらなあかんけど、これはほないいのかって話になるしね。そういう意味では我々はスケジュールどおりでやっていこうという形で今回皆さんにお願いをしてる。

○進藤裕之委員 副委員長言われてるスケジュールについては、私自身はオーソライズされたものではないという理解。このスケジュールで進めていきたいっていうレベルのもんやと私は思っていました。

それで、この議会活動の基盤についてという部分は、私自身は本当に論議を尽くすべきやって思いでこれまでも言わせていただいた中で、このスケジュールに縛られず、ぎりぎりいっぱいまでね。各ほかの項目と並行してでもやるべきやってことも言った記憶あるんですけど、ただ、スケジュールに私は縛られる必要はないというのを前提として、と言いつつ、ただ、冒頭の陳情で議会運営委員の多数決で決まった結論は、議会活動の基盤については論議を尽くさないということになってしまったんです。

○小原明大委員 尽くさないというのは。

○進藤裕之委員 賛成少数で否決された、趣旨を了としないとなった以上、それに対して言っても、実際問題ほかの方の反対多数で多数の方が議論を尽くす必要はないって言うてはるのやから、それこそ話が平行線になってしまう。

○小原明大委員 尽くす必要がないとはおっしゃいませんよね。別に。了としないか

らとって、真反対じゃないでしょ。

○三木常照委員 内容が内容だからね。議論を尽くさないとか、拒否をするっていうスタンスではなくて、報酬にしても皆さんどういうふうなお考えがあるかどうかわからへんけど、やはり、自己評価をしてこうですよというのは、性質がらなかなか言いにくいし、例えば、報酬審議会等の答申をもって、それに従うとかいうようなことでないと、1つの定数の、24人のままですとか、2人減の22人ですとかいうものを、この議運で結論づけて出せるっていうことは、正直難しいと思う。だから、議論をしないというわけではなくて、こういう皆さんの統一した結論はこの数字ですよ的なもんは絶対出ないと思う。

○進藤裕之委員 三木委員、出ないのは承知の上で、論議を尽くしてほしいっていうのが、ちょっと陳情の話になってしまいますけど、陳情の趣旨なんです。それに対して、趣旨を了としないと言った以上、今、言っはることは自己矛盾ですよ。

○三木常照委員 自己矛盾であったとしても、調査とか、今課題になってるそのものっていうのは、もう結局これ以上できないんですとしないっていうように私が判断したんです。会派として。

○進藤裕之委員 賛成少数で了としないとなった以上、輝会派としてはそれ以上、この場で論議をするっていうのは引っ込めます。なので、いつのタイミングになるのか、次の改選後になるのか。やっぱりどっかでする必要はあるってことだけは最後に申しときたいなと。

話を戻しますと、スケジュールに関してはもうちょっと、フレキシブルに考えていただいたほうが。あれ、オーソライズされたもんという理解でした、皆さん。

○上村真造委員長 ただ、きちきちとこの日までがこれで終わりですと言ってるわけじゃない。これも、超過してるわけです。

○進藤裕之委員 この進め方で進めたいっていうね。

○上村真造委員長 せやけど、ある程度で結論をそれぞれに出して行ってほしいという当初のね、私はできるもんはやったらええって、個人的には申しわけないけど、私は無理やと。7つも8つもやるのは無理やから、できるもんからずっとやっていきましょって言ったときに、委員の皆さんが出てきてるもんは全部やらなあかんという思いがあったから、そしたらある一定のタイムスケジュールを決めないと全部をこなせないっていう中でお示しさせていただいたと思うんです。

それが、例えば、きょうで終わりやっていうのを絶対終わらなあかんってことを

してないつもりです。これも延ばしてると思います。だから、その中で議論を尽くしたか、尽くしてないかはそれぞれの感覚かもわからへんけども、その中である一定議論はしたけれども答えがないので、ホームページ上にそれぞれアップしますという形を正副で取り決めてお出ししてるわけです。それが文言は別として、ある一定、答えとして皆さんの御意見を出すというのをここで、一旦閉じるという形を取らせていただきたいっていうのが正副の思いです。

○進藤裕之委員 輝はそれでいいです。文言は除いて。

○上村真造委員長 文言は申しわけない。訂正します。

それで、皆さんが納得をされないのであれば。小原委員はどうです。

○小原明大委員 先ほど言いましたように、やっぱり、検討というからにはそれぞれの意見を出して、出したものをお互いに批判なり、吟味なりして論点がある程度明らかにしていけないと、出されてる各会派の意見を見て、市民の方が本当に検討したんかいなっていうふうに思われるようなもんを出すのは、スケジュールというのがありますけど、読まはる人はそんなことは理解しませんし、それやったらきょう、とことんまで議論してもええやないかと思えますよ。何もきょう3時までには終わらないとあかんとかじゃないですから。

○三木常照委員 例えば、進藤委員とか小原委員は、議運の中で1つの共通した数字、答えというのを統一したものを出すべきやというお考えでしょうか。

○上村真造委員長 進藤委員はもう言わないっておっしゃってますから。

○進藤裕之委員 ただ、さっきの質問っていうのが、出せるものなら出したほうがいいです。

○三木常照委員 ここで決まった1つの答えっていうこと。

○進藤裕之委員 出せるものなら。

○三木常照委員 そういう意味ですよ。

○進藤裕之委員 そういう論議を尽くしましょっていうことで前回まで私らは提案をしてきました。それが、定性化であり定量化なんです。それが、定数なり議員報酬なり政務活動費っていう数字として出てくれば一番ベストですけど、でも、そういう論議をしてないままで終わるのはやっぱりいかなものかっていう主張でしたので。出せるにこしたことはないんじゃないか、出していく方向で論議をするという。難しいですけど。

○上村真造委員長 大変申しわけない、委員長の不徳のいたすところですけども、出

せるにこしたことはないですけども、なかなか見出せないというのが正副の思いです。その中で、大変申しわけないけどもこういう形でしか答えを出しきれないという思いです。

答えを出すというのは、私が言うのは委員長としておかしいかもわからへんけど、出すというのは例えば、これが今ここに、進藤委員からは出ましたけど、24人の現状維持か2人減というそれぞれの会派の意見が出てるわけですよ。それは意見として間違いはないですね。そしたら、現状維持のほうから言えば、2人減って言うてはるところをまとめようとするならば、現状維持と言うてるところが、2人減を現状維持やないかという説得をできる。説得というか正論として。24人が正しいんやっていうことを言えて、2人減のところ、そうですね、それはごもっともですって言ったときに初めて議運として答えが出るわけです。だけど、何回かやらせてもらって、正副でいろいろ話をさせてもらった中で、どっちもが譲らない状況の中で答えを出せない。だから、24人と言ってはるところと、22人と言っているところの意見を市民さんに見てもらうためにこのホームページという画面でいろんな意見も含めて、市民さんに見てもらうというのは議運としての答えではないけども、結論にしたいという正副の思いなんです。そこは理解していただきたいなと思います。

○小原明大委員 今、正副として不徳のいたすところまで、そんなことまでおっしゃっていただいてそれは非常に申しわけないと思います。それはもう委員の文句言ってる私かってそのことをもっと議論をせねばならんというんやったら、するための努力をする責任がありますし、そんな決して正副の不徳みたいなことを言うつもりはありません。それは私が受け止めないかんことやと思います。

実際、こないだ進藤委員から可児市が定性化・定量化、議員活動とはなんなのかというのをかなり研究されたいうのを聞いて、それちょっと見させてもらったりもしたんですけど、相当議論をしてはって、議員がそれぞれ毎日どういう活動を何分したみたいなのを集計して、これを全部出すと市民の方から見ても議員はこんだけ働いてはるからこんだけ給料要るんやなみたいな感想が出てくるというか、すごい取り組みをされていたんですけど、それぐらいしないとできひんことなんだろうなと思いますと、私さっき、あと3回やったらというようなことも言いましたけど、じゃあ、それで十分かというとまだまだ探求しなあかんことなんであろうと思いますんで、今の議論の中でもうちょっとやってはと言わさせてもらいましたけどもそ

ういうふうにまとまりそうにないので、現状の提案の方向でまとめていくというのには応じなければならんだろうなとは思いますが、希望したいのは9月30日まで修正の提出なんですよね。

○上村真造委員長 はい。

○小原明大委員 ぜひ、もうちょっと、それぞれ論拠としているところが全く違う角度だったりするので、そこがもうちょっとお互いが言うてはることを踏まえての意見を。意見とか見解を述べるような形にしていってぜひ、積極的に修正もしながら、こういうお互いに意見出す中で、こう考えたんやっというのが市民に見えるように。最初に出したやつというよりも、ぜひ、この各会派の意見を見ながらより深めたっというような形をとってもらいたいなということを希望したいと思います。

あと、1点はこれ細かい話ですけど、各会派の意見は公平に並列して並べていただきたい。この輝さんと平成西山クラブさんだけ別のPDFとかにしないで、長さにかかわらず全部同じ表におさめていただきたいと思います。

○木村（知）議会事務局次長 1つの画面の中に全部入れるっていうのはできないことはないんですけども、かなり表が。枠とか。

○小原明大委員 そうであれば、全部PDFにしてそれを開けば一覧になっているっていう。

○木村（知）議会事務局次長 別の画面でもう一回見れるようにPDFに全部するっていうことですよ。それも1つ考えられるとは思いますが、1回目で大体見れるところは見たほうがいいのかっていう思いがあったのでちょっとこういう形でさせていただいたんですけど、ここでそういうお話しであるようでしたら、修正はききますので、今、あくまでも案として出させていただいている状態なので。

これは意見です。

○小原明大委員 あと1点。話戻りますけど、事務局もたくさんの資料も集めていただいて、掲載もしていただいているので、その資料を見てどう思ったかということも、自分のところも十分書けてないんですけど、それもぜひ踏まえていくように皆さんで修正もしながら、よりよいものを最終的に出せたらと思います。

以上です。

○上村真造委員長 そしたら、今、小原委員がおっしゃるように、それぞれ全てがPDFでいってもらおうという形で。

○木村（知）議会事務局次長 わかりました。

- 進藤裕之委員 各会派の詳細はこちら、にしたら全部見れる。
- 小原明大委員 1個の表で。
- 進藤裕之委員 一個一個飛ばさなくても。
- 福島和人副委員長 もう全部ずっと出るようにしたらいい。
- 進藤裕之委員 会派の名前があって、各会派の見解はこちらっていうふうに。
- 福島和人副委員長 PDFに全部入ってたらいいやんな。
- 小原明大委員 表ごと。
- 上村真造委員長 表ごとね。そこで一気に見られるっていう。
- 進藤裕之委員 ここに、ぱんと書くとかなりスクロールせなあかん。
- 木村（知）議会事務局次長 スクロールがかなり長いかたと私も思ったんで、ちょっとこういう形で。
- 進藤裕之委員 飛ばした先は別に1枚ずらっと。
- 木村（知）議会事務局次長 最初に言ったように、スクロールするのが大変なのでこういう形にさせていただいた部分があったので、今、言いやる1枚ずつPDFにするんやったら、ある程度見たいところだけぱっとしたらその人のうちの部分がPDFになって出てくるのはあるんですけど、全ての会派の意見をPDFでずっと並ばせると長いことスクロールをずっとして一番下の人を見たければスクロールをしてこなければ出てこなくなるので。
- 小原明大委員 でもそのほうがいいです。
- 木村（知）議会事務局次長 そっちのほうがいいですか。
- 進藤裕之委員 ただ、そっちのほうが各会派の見解を並べて見ようと思ったら、そこ飛ばす先は別にスクロールでもいいんですよ。ただ、こここのところで全部をずらっと書くと、ここでスクロールするのもまずいんじゃないですか。
- 木村（知）議会事務局次長 わかりました。では、PDFで。
- 福島和人副委員長 1会派ごとにPDF。それとも。
- 進藤裕之委員 だから、会派の名前がぱんとあって、各会派の見解はこちらで1個だけボタンつくって、押したらずらっと出てくるっていう。
- 福島和人副委員長 それは全部の。
- 進藤裕之委員 全部出てきていいんですよ。
- 福島和人副委員長 全部の会派が一遍に。1個ずつ。
- 進藤裕之委員 だって、各会派の見解比べたいと思う人は一回一回戻らなだめだし

よ。

- 福島和人副委員長 そうそう。あとは見る人が見たらいいねんな。
- 進藤裕之委員 各会派の見解を通して読みたい人はそのままスクロールでばっと読まはる人は読まはるんで。
- 福島和人副委員長 ほんなら、会派の意見の上に表題で会派の名前を入れるようにしてもらわなあかな。
- 進藤裕之委員 それは必要ですね。
- 福島和人副委員長 そうせんと、どこで切れてるかわからへんやん。
- 進藤裕之委員 その体裁はもうお任せします。
- 小原明大委員 P D Fの中にこの表を入れてしもたら、何ぼ長くなってもいいのかなと思いますね。
- 福島和人副委員長 表ごと P D Fに入れてまうんやな。それも1つやね。
- 小原明大委員 こっちに飛ばなあかんところと、今書いてあるのが。
- 福島和人副委員長 横にあって、だっと書いてあったらその分ずっと続くいうことやね。そこら辺のレイアウトは任せてもらえますでしょうか。見やすいように考えてもらう。
- 上村真造委員長 そしたら、ホームページのイメージはそれでよろしいでしょうか。
(「はい」と言う者あり)
- 上村真造委員長 ホームページへの掲載についてですが、本日の議事録等の準備ができ次第掲載したいと考えておりますが御異議ございませんか。
- 小原明大委員 これ、議事録ずっと載せるんですか。
- 木村(知)議会事務局次長 議事録を載せたらという御意見が前回ありましたので、一応、議事録を載せようと議論の結果として、載せようと思っておりますけれども、違いましたでしょうか。
- 八木 浩委員 これ普通に議会の議運の議事録検索したら出てくるな。
- 福島和人副委員長 出てくるん。
- 木村(知)議会事務局次長 それでも出てきます。
- 上村真造委員長 ダブルで出てくるってこと。
- 木村(知)議会事務局次長 単純にピックアップして。
- 進藤裕之委員 そのページに飛ぶように。何月何日何時にというように。この論議のところだけに絞ってもいいと思います。それはちょっと全部読むと長いんで。抜

粹していますとか何か書いて。全体を見たい人は議事録のほうへ戻ってください。

○上村真造委員長 そしたら、ホームページの掲載については議事録の用意ができ次第掲載したいと考えますがよろしいでしょうか。

○小原明大委員 ごめんなさい。議事録ですけど、さっきも私、大分フランクな言葉で喋ってしもうてるので、もうちょっと議事の要旨というのが。余計面倒くさいですけど。

○上村真造委員長 それはさすがに気の毒ですわ。趣旨が若干、言葉によって微妙に変わってくるから。

○八木 浩委員 フランクに言うてるのは、普段と変わらへんやん。それが、このまま載ってるわけやねんや。議運のページ開いたら。

私らは今までこういうフランクなトークができひんから、おたくの先輩らも委員会の議事録は言葉かなんさかいにっていうて出さないようにっていうこともしてた時代もあったんや。言葉が荒く聞こえることもあるし、議員間含めて、言ってる戻っての答弁が委員会やから、そういう中で、出来レースでないぶつかり合いやから何が出るかわからへんっていうようなことをしてるわけやから、そういう部分も全て市民の人にも会議録を公開してるわけやからフランクにしてるっていうのはフランクでええんちゃうか。

○進藤裕之委員 新庁舎になったら委員会も中継するんやし。

○上村真造委員長 小原委員よろしいですか。

○小原明大委員 わかりました。

○上村真造委員長 そしたら異議なしと認めそのように決定します。

【略】

○上村真造委員長 それでは、3. 議会の条例、規則等に関する事項について、本日は、この程度とさせていただきますよろしいでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

○上村真造委員長 異議なしと認めます。

【略】